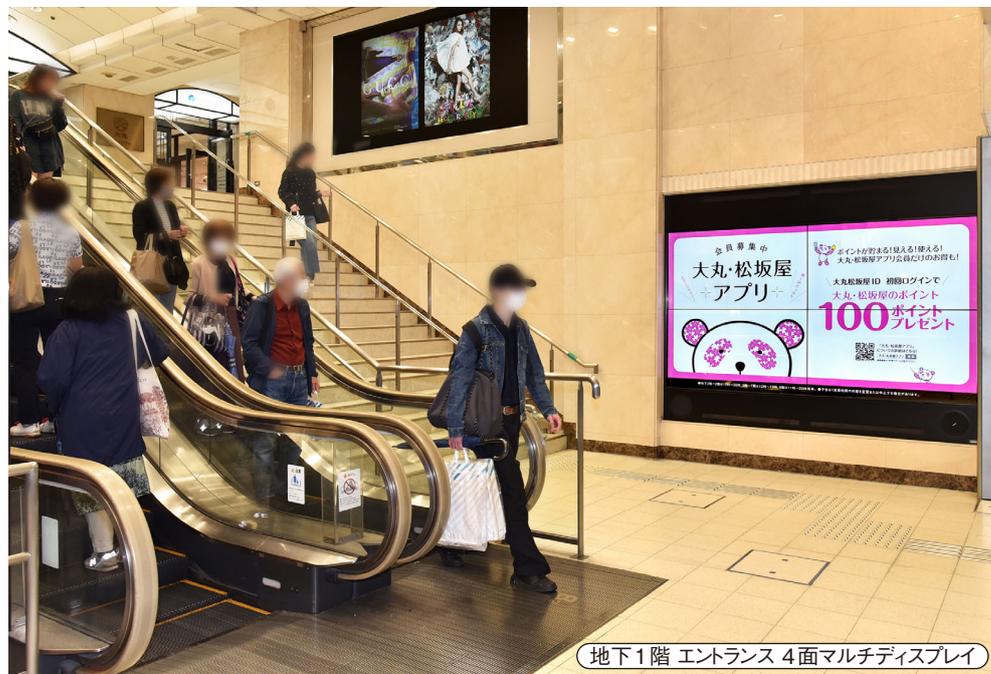


e-Signage Sで時間帯にあわせてコンテンツを切り替え タイムリーな情報発信でサイネージの販促効果がアップ



地下1階 エントランス 4面マルチディスプレイ

導入先

株式会社大丸松坂屋百貨店さま

- 東京都江東区(本社)
- J.フロントリテイリング株式会社さまのもとで、株式会社大丸さまと株式会社松坂屋さまが合併して2010年に設立。全国で15店舗の百貨店を運営されている。
- 大丸京都店(本物件) / 京都府京都市



1階 エレベーター前



1階 四条通沿い外壁

導入商品

インフォメーションディスプレイ

PN-HS551×4台、PN-HY551×8台
PN-V605H×4台

サイネージコントローラー PN-ZP40×13台
アドバンスコントローラー PNZP45×1台

デジタルサイネージソフトウェア
e-Signage S ネットワーク版

- 大丸京都店1階および地下1階のエントランスやエレベーター前、四条通の歩道に面した1階外壁などに多数設置。2024年2月導入。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

約10年前に導入し、店舗内外で多数活用していたデジタルサイネージが老朽化してきたことから、一括リプレースを検討。明るく高精細なディスプレイに置き替えて訴求力を高めつつ、より進化した配信ソフトでコンテンツ更新作業を効率化したいと考えました。

4Kで高精細に表示でき、色鮮やかで輝度が高いので、目立ちやすく訴求力が高まりました。

e-Signage Sでコンテンツ切り替えのスケジュール化がより簡単になり、販促効率がアップ。

保守体制がしっかりしていて親身なサポートを受けられるので、安心して運用できます。



株式会社大丸松坂屋百貨店
大丸京都店
営業推進部 スタッフ
広告企画担当
平田耕司さま

■ 導入の背景

約10年前に導入した機器のリプレースへ。
新しいシステムで訴求力を一層高めたい。

当店では約10年前から、シャープ製のインフォメーションディスプレイを店内各所や四条通の歩道に面する店舗外壁に設置し、デジタルサイネージとして活用してきました。ショップの広告やセールのご案内、当店からのお知らせなどの情報発信に不可欠なツールとなっていました。年数が経過して老朽化してきたため、リプレースすることを検討。明るく高精細なディスプレイに置き替えて訴求力を高めるとともに、コンテンツ配信ソフトも最新にして、より使いやすく便利になることを期待しました。

■ 選ばれた理由

場所・用途にあわせて最適な機種を選べる。
万全のサポート体制で運用が安心。

シャープのディスプレイは高輝度タイプやマルチディスプレイタイプがラインアップされており、同じ高精細な4Kディスプレイでも設置場所や用途に応じて最適な商品が選べるのがメリットです。コンテンツ配信ソフトもe-Signage Sに進化しており、よりシンプルで操作しやすく、作業ミスを防げます。シャープの保守体制も万全で、これまで、ディスプレイ本体だけでなく当店の設備やシステムまで熟知した担当者による親身なサポートを受けており、安心できたことも決め手になりました。

■ 導入後の効果

通行人の目に入りやすくなり訴求力が向上。
e-Signage Sで夜間はレストラン集客に活用。

高精細で明るいディスプレイに一新したことで、店内はもとより屋外設置したサイネージでもよく目立ち、訴求力が高まりました。e-Signage Sのタイムテーブルも使いやすくなっており、ショップフロアの営業時間終了後、レストランの広告を表示したり、週末のセールにあわせてコンテンツを切り替えたりする操作も一層スムーズに行え、タイムリーな情報発信で販促効果が上がっています。また、万が一トラブルが起こっても、e-Signage Sの「状態監視・制御」ページですぐに確認できるので、安心して運用できます。

■ 今後の展望

デジタルサイネージの追加導入を検討。
ポスターなど紙媒体の置き換えを図っていく。

現在、店内の別の場所でもデジタルサイネージの追加導入を検討しています。当店では各所でポスターなどの紙媒体を使用しているものもまだ多いことから、今後も店内環境を考慮しながら、デジタルサイネージへの置き換えを図っていきたくと考えています。



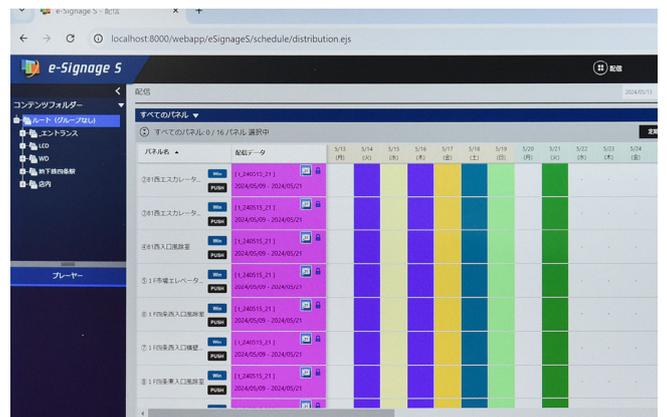
1階 エントランス

高輝度なので、エントランス前の屋外でも目立ちやすい



地下1階 風除室

スマホアプリ会員募集や買い物代行サービス等の広告を表示



e-Signage Sのタイムテーブルは色分けされていて確認しやすい